

令和5年12月1日

保護者 様

小平市立小平第二中学校
校長 吉田 功

令和5年度第2回学校評価(保護者アンケート)に向けて

日頃から本校の教育活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

さて、このたびスクールメールを活用して第2回学校評価(保護者アンケート)を実施いたします。これに先立ち、これまでの学校での取組状況について下記のとおりお知らせいたします。ご一読の上、アンケートにご回答ください。

記

【通常の学級】

<学習面>

学習面では、教員の授業力の向上、学習者用端末の活用に引き続き取り組んでいます。

まず、学校全体(教員)の取組としては、授業における「二中スタンダード」(時間を大切にする、授業のめあてや流れを提示する、ICT機器を活用するなど)に基づく授業づくりに取り組んでいます。全ての教員が生徒にとって分かりやすく、学びやすい授業を行えるようになることは、生徒たちの学力向上に寄与します。今学期は、2学年教員が授業者となり11月15日(水)に授業研究を行いました。また、今学期末にかけて生徒による授業評価を行います。このほか、管理職による授業観察を通して、時間講師を含む全教員に対し個別に助言・指導しております。

次に、学習者用端末の活用については、5月後半から家庭への持ち帰りを行い、おおむね定着してきた印象です。東京都中学校校長会の調査では、都内87%の中学校で持ち帰りを行っているとのことで、本校もようやくそのレベルに到達しました。今後は、授業及び家庭での活用の場面がさらに増えるよう努めてまいります。

登下校時における端末の荷物としての負担については、学校だより11月号でお伝えしたとおり、いわゆる「置き勉」の量を増やし、荷物の重量を削減しています。今年度の予算に余裕が出るようでしたらブックエンドを買い足し、生徒の負担軽減に努めます。遅くとも次年度早々には、整備を完了させます。

このほか、長期欠席生徒を対象とした個別教室も継続して実施しています。人数は多くありませんが、学校を長く休んでいた生徒の登校の足がかりになっています。

<生活面>

生活面では、落ち着いた学校生活を送れるようにすることが大切です。今学期に入り、1年生で一部の男子生徒がトイレにたまったり、トイレ内の破損やいたずらがあつたりしました。学年の教員の粘り強い指導で現在は、解消されています。

この春に卒業した3年生たちが残してくれた、上級生が下級生にお手本を見せる姿を「二中ブランド」として継承し、下級生たちにも指導しています。特に合唱コンクールでは、実行委員を中心に取り組み、素晴らしい姿を後輩たちに見せてくれました。そのほか、生徒会行事や部活動でも3年生の頑張りを受け継いでいる姿を見ることができます。

その他、昨年度学校ホームページ上に設置した「相談フォーム」では、2学期以降は5件の相談があり、担当教諭につなげ対応することができました。

今年度、より良い学級生活と友達づくり、学びのためのアンケートとなる WEBQU(ウェブキューキュー) アンケートを導入しました。11月に第2回目の調査を実施しました。6月に行った前期の調査結果と比較し、生徒の変化も出ております。今後、担任を通じて生徒にフィードバックしていきます。

いじめについては、今学期8件(内訳:1年生6件、2年生1件、3年生1件、G 組0件)ありました。8件とも指導済みで見守り中です。いじめ発見の多くは、年3回実施している「ふれあいアンケート」からが多いです。SNSにかかるトラブルに端を発しているものが多いです。スマートフォンなどの使い方については、学校でも指導しておりますが、ご家庭でもご指導いただけたらありがたいです。

長期欠席している生徒数は、昨年度までと比較し増加傾向に歯止めをかけられています。ありがたいことに1年生では、欠席日数はあるものの全く登校できていない生徒はいません。これは特筆すべき成果と考えています。

前期の調査でご指摘のあった給食の喫食時間についてですが、給食の準備(配膳)は平均9分で行っています。今後、生徒の給食委員会でも早く配膳を終え、喫食時間を増やせるような取組を1月に実施する予定です。

<その他>

令和7年4月の自閉症・情緒障がい特別支援学級開設に向け、夏休み期間中に図書室を南校舎4階に移転させました。来年度は、北校舎2階の美術室を含めた教室を特別支援学級用に改装します。来週12月6日(水)の午後4時から自閉症・情緒障がい特別支援学級設置に向けた説明会を開催します。ぜひお越しください。

これまで新型コロナ及びインフルエンザに罹患した場合は、電話での報告をお願いしておりました。今月から専用フォームからも連絡できるようにしました。必要な際は、ご活用ください。リンクの場所は、学校ホームページ「学校日記」タブの欠席連絡フォームの下段にあります。

【特別支援学級(G 組)】

<学習面>

学習面では、生徒一人一人の実態に応じて、一斉に授業を受けたり、グループに分かれたりして学習をしています。どの時間も教員や補助員が付いて個に対応した授業を行っています。引き続き、学習者用端末の活用にも積極的に取り組んでいます。前期学校評価でいただいたご意見をもとに教育委員会に働きかけ11月から学習支援員を増やし対応しております。

<生活面>

生活面では、生活の自立を目指し、きめ細かく指導をしています。朝登校時と午後の下校時には校長室に顔を出し、挨拶をしてくれる生徒がたくさんいます。宿泊学習では、日頃、学校では見られない生徒の様子を見ることができました。生徒の自立に向け、ご家庭でも引き続きご指導いただけたら幸いです。

部活動では、通常の学級の生徒に混じって活動している生徒もおります。

G 組の授業を見学すると、通常の学級で求められているユニバーサルデザインや個別最適の学習がすでに実践されており、今後の授業のあるべき姿を示してくれています。今後の劇と音楽の会や市内作品展を楽しみにしていただけたらと思います。

以上

以上を参考に12月8日(金)までにアンケートへの回答をお願いいたします。